特殊詐欺被害状況

令和　8　年　10月末（暫定）

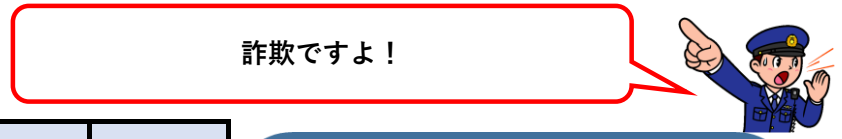
1　件数

	ニセ警察	オレオレ	預貯金	架空料金請求	融資保証金	還付金	金融商品	交際あっせん	ギャンブル	その他	カード窃盗	SNS投資	SNSロマンス	合計（件）
10月末	160	53	12	136	7	17	0	14	0	39	20	122	123	703
前年同期	133	1	16	113	6	15	1	16	1	17	13	120	142	594

2　被害金額

	ニセ警察	オレオレ	預貯金	架空料金請求	融資保証金	還付金	金融商品	交際あっせん	ギャンブル	その他	カード窃盗	SNS投資	SNSロマンス	合計（千円）
10月末	1,595,899	187,724	22,629	242,175	2,011	18,624	0	35,121	0	114,727	22,893	1,160,905	797,179	4,199,888
前年同期	769,737	2,395	38,923	141,250	879	10,104	3,000	30,007	7,225	23,863	14,840	1,515,207	1,141,312	3,698,741

※　被害額については端数四捨五入のため、詳細金額とは若干の差異があります。



3　被害者性別

	10月末
男性	397
女性	306
合計（人）	703

4　年齢層

	～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳代	80歳代～	合計（人）
10月末	77	84	87	108	56	71	122	98	703

5　高齢者被害

	件数	比率
10月末	291	41.4%

→

	被害額（千円）	比率
10月末	2,017,565	48.0%



6　詐欺の手口

ニセ警察官にだまされないで！！



令和8年10月末、ニセ警察詐欺が160件（被害額約16億円）発生しました。
この手口は、自宅の固定電話や携帯電話あてに電話をかけてきて、警察官等を名乗り、言葉巧みにLINEのビデオ通話に誘導し、ニセの警察官がニセ警察手帳やニセ逮捕状等を見せる等して「あなたの口座が犯罪に使われている」「事件の容疑がかかっている」「守秘義務があるので誰にも言ってはいけない」等と言って不安にさせ、「口座の調査のためにお金を振り込む必要がある」等と言ってお金を振り込ませて騙し取るというものです。

ニセ警察官のキーワード

①
・「+44」や「最初が0でない番号」で電話がかかってくる。
・あなたの口座が犯罪グループに使われている
・あなたが事件の犯人として容疑がかかっている
・逮捕状が出ている
・守秘義務があるので家族にも言ってはいけない
等と言って不安にさせる。



②
LINE等のメッセージアプリのビデオ通話で取り調べをすると言ってきたり、逮捕状の画像などを送信してくる。



③
・潔白を証明するために口座のお金を調べる必要がある
・口座を凍結する
・優先的に捜査する
・逮捕を免れるために保証金が必要
等の理由で、預金を全て別の口座に送金するように指示してくる。
「お金はお返しします」と言ってくる。
※検事が出てくる場合も。



対策



・一度電話を切って、身近な家族や知人、じぶんで調べた警察署の電話番号に相談する。
・自分で調べた電話番号やお住いの近くの警察に電話で相談する。
・警察がSNSアプリで事情聴取をしたり、逮捕状などの画像を送信することは絶対にありません。
・**国際電話番号**など、知らない番号の着信は取らないようにしましょう。



滋賀県警察公式防犯アプリ「ぽけっとポリス　しが」
をダウンロードして防犯情報をチェック！！



https://store.police.shiga.dsvc.jp/index.html?type=2

ダウンロードはこちら

警察庁・ＳＯＳ４７特殊詐欺対策ページ

【１月】

詐欺の電話はアプリでブロック！

携帯電話に特殊詐欺の犯人から架電されるケースが急増しています。

犯人からの電話を直接受けないためには、犯人が使う国際電話番号などをアプリでブロックする対策が有効です。

警察庁推奨アプリを活用し無用な国際電話番号からの電話をブロックしましょう。

詐欺対策 by NTTタウンページ

詐欺バスター Lite トレンドマイクロ社

【２月】

「＋」から始まる電話に要注意！

昨年から「＋」から始まる国際電話番号からの詐欺の電話が多発しています。
最近は末尾が「0110」となっているものや、実在する警察署の電話番号が表示されるケースが急増しています。



対応方法

・固定電話は国際電話番号からの着信を休止するサービスを活用する。
・携帯電話の場合は、アプリや各社のサービスを活用する（アプリ内課金等あり）。
・登録された番号以外の着信に出ないようにする。
・お金の話をされたら電話を切って、身近な家族や知人、自分で調べた警察署の番号に電話をする。

【３月】

SNSからの投資等の儲け話は注意！

投資すれば利益が得られるものと誤信させ、投資アプリ等に誘導するなどし、虚偽の利益を表示する方法などにより心理的安心感を与え、架空の投資を継続させながら投資金名目やその利益の出金名目などで金銭等を騙し取るSNS型投資詐欺が増加しています。SNSで知り合った人に勧められた投資に手を出さないで！！



対応方法

・SNSのダイレクトメッセージで投資話を持ち掛けられたら注意！
・投資先が実在しているか、国の登録業者かを確認する！
・「必ずもうかる」「あなただけ」等といった文言があれば詐欺を疑う！
・投資を勧めている「著名人」本物かどうか確認する！
・投資に関する「暗号資産や」「投資アプリ」が実在するか確認する！

【４月】

サポート詐欺に注意！

パソコンでインターネットを閲覧中に、突然ウィルス感染したかのような嘘の画面を表示させたり、警告音を鳴らせるなどして、不安をあおり、画面に記載されたサポート窓口に電話をかけさせ、サポート名目で遠隔操作ソフトをインストールさせて、ウィルス除去作業をしたふりをして、金銭（ギフトカード）等を要求する手口です。



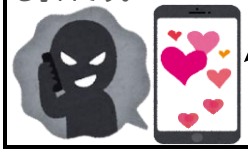
対応方法

・表示されたサポート窓口の電話番号に電話しない！
・警告画面を消す！
・家族・友人に相談する！
・パソコンの購入先に相談する！
・警察に相談する

【５月】

そこに愛はありますか？

SNS型投資詐欺とは、SNSやマッチングアプリなどを通じて出会った者と、実際に直接会うことなくやりとりを続けることで恋愛感情や親近感を抱かせ、結婚に伴う資金調達を匂わせ、暗号資産の購入や架空の投資を勧め、お金を振り込ませようとし、はじめは利益が出たように見せかけますが、実際は虚偽であり、出金しようとするとさらに送金を求められ、繰り返し金銭等をだまし取られる手口です。



対応方法

・実際にあったことのない人からお金の話をされたら要注意！
・将来のため、投資、旅費、荷物の手数料という言葉が出たら要注意！
・マッチングアプリで知り合い、早い段階でLINEに誘われたら要注意！
・警察に相談する。

【６月】

オレオレって誰ですか？

オレオレ詐欺とは、親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取る（脅し取る）手口です。最近、息子や孫、娘になりすましたオレオレ詐欺が多発傾向にあります。「風をひいて声が変わった。」「携帯が壊れて番号が変わった。」等と言って信用させた後、示談金名目で「お金が必要」等と言って要求されたら注意しましょう！



対応方法

・固定電話は国際電話番号からの着信を休止するサービスを活用する。
・携帯電話の場合は、アプリや各社のサービスを活用する（アプリ内課金等あり）。
・留守番電話に常時設定する。
・知っている家族、親戚に電話して確認する。
・警察に相談する。

【７月】

固定電話も詐欺対策をしましょう！



特殊詐欺の犯人から固定電話に架電されるケースが増加しています。

犯人からの電話を直接受けないためには、犯人が使う国際電話番号をブロックする国際電話不取扱受付センターが無料で提供するサービスが有効です。

サービスを活用し無用な国際電話番号からの電話をブロックしましょう。

国際電話不取扱受付センター

0120-210-364

オペレーター案内
平日 9:00～17:00

自動音声案内
平日・土日祝24時間

https://www.kokusai-teisi.com/

【８月】

楽して稼げる副業なんてありません！

SNSの投稿や広告から「動画をスクリーンショットするだけ」「投稿に『いいね』をするだけ」など簡単な作業で高額な報酬をもらえるなどと甘い言葉で誘う副業名目の詐欺が多発しています。この手口では、副業で稼ぐはずが、ミスや損害の補償、保証金等を名目に逆にお金を要求されて、お金を騙し取られることになります！



対応方法

・広告に「簡単」「すぐに稼げる」「だれでもできる」等と記載されている場合は注意する。
・「会社のホームページがない、連絡先が電話番号だけ」、「SNSだけでしかやり取りをしたことがない」といった場合は詐欺を疑う。
・おかしいと思ったら家族や知人、警察など誰かに相談する。
・家族や職場などで話題にして、身近な人の被害を防ぎましょう！

【９月】

キャッシュカードを狙った詐欺に注意！

キャッシュカード詐欺盗は、警察官や銀行員などを装って電話をかけ「キャッシュカードが不正に利用されている」等と言ってご自宅を訪れ、カードを騙し取ったり、すり替えたりして、被害者の口座から現金を引き出す手口です。警察や市役所、金融機関の職員がご自宅にキャッシュカードを受け取りに行くことはありません。



対応方法

・自宅の電話は国際電話不取扱センターのサービスを利用するとともに留守番電話設定にして、詐欺の電話をブロック！
・暗証番号は誰にも教えてはいけません。
・電話の相手が誰であっても、「キャッシュカードを交換する（預かる、保管する）」等と言われたら、すぐに家族や知人、警察に相談を！！